



ベトナムにおけるグリーントランスポートの動向

北陸銀行 国際部
 ホーチミン駐在員事務所
 グエン・ゴク・ビン・アン

1. はじめに

ベトナムは、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロ（ネットゼロ）にすることを国際的に公約に掲げ、持続可能な経済発展へ向けた強い意志を示しています。

2022年、ベトナム政府は首相決定876/QĐ-TTgを公布し、交通運輸分野におけるグリーンエネルギーへの転換や、二酸化炭素およびメタン排出量削減に関する行動計画を承認しました。専門家は、持続可能な交通システムの構築は急務であり、グリーン成長や国民の健康向上に直結すると指摘しています。

2. ハノイ市の取り組み

ハノイ市には現在、約700万台のバイクが走行しており、その大半はガソリン車です。これが都市部の大気汚染の大きな要因となっています。2006年以降に排ガス規制が行われてきた自動車とは異なり、二輪バイクはエネルギー消費量が大きく、排ガスを直接大気に放出するため、より深刻な汚染源となっています。

特に、首都中心部（環状1号線内）には45万台のバイクが常時走っており、60万人の市民の足として使われています。加えて、郊外や近隣の省からも車両が流入するため、排ガスと悪天候が重なると大気汚染が深刻化します。

天然資源環境省の統計によると、交通由来の大気汚染は全体の60%以上を占めるとされています。内訳は、車両排ガスが約15%、交通活動による粉じんが23%、建設工事による粉じんが17~18%、稲わらやタイヤの焼却が15~16%となっています。

ハノイ市は、化石燃料を使用する二輪バイクや車両の乗り入れを段階的に禁止する計画を進め、大気質の改善と交通渋滞の緩和を目指しています。

2026年 7月1日~	環状1号線内	・ガソリンバイクを全面禁止
2028年 1月1日~	環状2号線内	・ガソリンバイクを全面禁止 ・ガソリン/ディーゼル自家用車を規制
2030年~	環状3号線内	・全ての化石燃料車両を規制



自動車とバイクで混雑するハノイ市内の様子

最終目標は排出量削減と大気質改善ですが、バイク利用者の多くは低所得層であることから、電動化には課題が山積しています。専門家は、財政支援、インフラ整備、広報活動を組み合わせた総合的な政策が必要だと提言しています。

3. ホーチミン市の現状と計画

ホーチミン市（旧市域）では、大気汚染の主因が交通による粉じん（TSP、PM10、PM2.5）とされ、交通量の多い地点では基準値を上回る観測結果が出ています。

2025年6月末時点では、旧市域には960万台以上の車両登録があり、そのうち自動車は約100万台で前年比9%の増加、バイクは約860万台で同2%増加しました。2025年7月には、旧ホーチミン市とビンズオン省、バリア＝ブンタウ省が統合され、新ホーチミン市全域では約1,100万台（うち自動車は約150万台）が登録されていることとなります。

そこでホーチミン市は「交通車両排ガス管理計画」を策定しました。

第1フェーズ (公共交通機関)	・公共交通機関(バス)の電動化計画。 ・2030年までに市内バスを100%電動化。
第2フェーズ (その他の交通機関)	・タクシー、配車サービス車両、契約車、長距離バス、貨物車、行政機関・国有企業・民間企業の自動車まで対象を拡大し、クリーンエネルギー車へ転換。

さらに、ホーチミン市中心部、カンゾー、コンダオ島などでは電気自動車優先区域を設定し、ガソリン車の流入を制限する方針を示しています。

ホーチミン市の注目すべきプロジェクトは、「配送業・配車サービス業向け二輪バイクの電動化計画」です。ホーチミン市内にある約40万台の配達用バイクを2026年1月1日以降、段階的に電動バイクへ移行する計画で、2029年までに100%完了を目指しています。

4. おわりに

ベトナム国内では現在、7,000万台以上のバイクが稼働しており、多くがガソリン車です。専門家は、電動バイクへの転換は不可避の流れであるとしながら、適切な移行スケジュールと包括的な施策が必要であることを強調しています。

グリーントランスポートの推進は、交通環境の改善、移動時間やコストの削減、環境汚染の抑制につながるものです。都市の持続可能な発展に向けた必須条件であり、社会全体での取り組みが求められています。

ホーチミン市内を走る多くのバイク(事務所撮影)



<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。

記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださいますようお願いいたします。

ほくりく長城会

長城メール

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
(株)人材情報センター内
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565
E-mail: info@chojo-hokugin.jp